

コンセプト

やがて起こるであろう東南海地震…わたしたちのふるさと「大河内」(おかわち)も、何らかの被害を受けることが想定されます…

2011年3月11日、東北地方の人々は、大きな被害を受けられました。

幸いにも、私たちの暮らす大河内は、被害もなく平穏な日々をすごしています。

震災後、被災地の一つ、岩手県大槌町という海辺の町へ定期的に足を運び町の変化を撮影している津市在住の写真家・松原豊さんがいらっしやいます。

その大槌町は大河内地区まちづくり協議会が「ひまわりの花」で交流を深めていた町と偶然にも同じ町でした。津波にさらわれた町に立ち、松原さんの体で感じられた被災地の「いま」について、子どもたちにもわかりやすくお話しをしていただきます。

そして、東北で起こった災害と、とらえるのではなく、わたしたちの「ふるさと」におきかえて、みんなで一度、考えてみませんか…

どなたでもご参加いただけます！地域以外の方もどうぞ！

平成24年11月11日(日)

松阪市立大河内小学校 体育館 (松阪市矢津町1775)

9時10分～10時30分

- 写真家 松原 豊さんのおはなしと写真

「ふるさとってなんだろう」

- 大河内小学校全校児童による合唱

「生命 歌いましょう」「福島から 伝えたい」

同時開催 (14時まで)

- 「大槌町2011・2012 / 夏・冬・夏」 松原 豊さん 写真展

- わたしたちのまち大河内 (防災ハザードマップ展示)

講師 松原 豊 (まつばら ゆたか) さん

1967年三重県生まれ 写真家 津市(旧美里村)在住

東京写真専門学校名古屋校(現名古屋ビジュアルアーツ)卒業後、アシスタントを経て独立。

NAGI、kalasなど地域文化誌の撮影に携わるかたわら、「村を記憶する写真師」として大判カメラで現在の村を撮影記録することをライフワークとする。

2010年写真展「村の記憶」を三重県立美術館(県民ギャラリー)、勢和図書館にて開催。

2011年写真集『村の記憶』を月兎舎より出版、同年新宿ニコンサロン、大阪ニコンサロンにて写真展

「村の記憶」を開催。2012年には写真展大槌町/2011夏・2012冬を三重県立図書館・県下図書館32カ所にて開催。現在、名古屋ビジュアルアーツ非常勤講師、公益社団法人日本写真家協会会員

松原 豊さん オフィシャルサイト <http://www.murakio.com/>

お問い合わせ先：大河内小学校 0598-36-0004 大河内地区市民センター 0598-36-0001